

3月定例議会



平成25年第1回定例会が3月4日から15日まで開催され、町長より提出した全議案が原案どおり可決されました。

本定例会は、予算関係では一般会計予算及び特別会計の平成25年度予算10件、平成24年度補正予算9件が、条例関係ではハートフルケアたてしなの法人化に関連する条例の改正、立科町国民健康保険税の改正（13ページ参照）など14件が審議され原案どおり可決されました。また、国の補正予算に係る防災情報通信基盤整備事業を計上した、一般会計補正予算第6号を追加提案し、原案どおり可決されました。

また、人事案件では、固定資産評価審査委員に山浦正志氏（古町）が議会の同意を得て選任されました。（11ページ参照）

財政係

| | |
|-----------|----------|
| 総額 | 72億978万円 |
| 一般会計 | 40億円 |
| 特別会計(9会計) | 32億978万円 |

当初予算

平成25年度

3月に開かれた平成25年立科町議会第1回定例会で、予算額40億円の一般会計と、7つの特別会計・2つの公営企業会計を含めた総額72億978万の当初予算が可決されました。

「子育て支援」「立科教育」「環境（自然・水、歴史・文化）」「産業振興支援」「高齢者福祉」の5つに重点をおくとともに、継続事業においても必要性・事業効果等を検討した予算編成を行いました。

平成25年度の一般会計は、前年度予算と比較して、額で2億円、率にして5.3%の増となりました。また、特別会計等を含めた予算額全体では、前年度当初予算と比較して、額で2億4,352万円、率にして3.3%の減となりました。

一般会計予算の概要

平成25年度

平成25年度一般会計予算の歳入歳出総額は、40億円で、前年度より2億円の増額となりました。

歳入

町税は、固定資産税においては家屋・償却資産の増による増額を見込んだ一方、個人町民税で減額を見込み、町税全体で409万円の減となりました。予算総額の41・0%を占める地方交付税は、16億4000万円を見込みました。また、町債は、普通交付税の代替財源である臨時財政対策債は昨年と同額の1億8000万円を計上し、新たに辺地対策事業債1640万円を計上しました。

歳出

目的別にみると、民生費が8億6753万円（21・6%）と最も多く、続いて土木費7億1375万円（17・8%）、総務費6億9087万円（17・3%）の順となっています。性質別にみると、普通建設事業費が、社会資本整備総合交付金道路整備事業の増により、1億1150万円の増（前年度比51・2%増）となっています。また、佐久医療センター建設費・佐久市新斎場建設費・川西赤字病院運営費補助等の負担金増により、補助費等が、6828万円の増（前年比10・9%増）となっています。